

26年10月、ごみ収集は有料化した

その結果を検証する

- 1、燃えるごみ、燃えないごみ、プラスチックごみは、**有料化し、市民の負担は増えた。**
- 2、戸別収集の実施、有料袋の調達販売など、**市の経費は大幅に増えた。**
- 3、集合住宅住民は、**ただ負担が増えただけ。メリットはない。**



市の財政に寄与したか ??

市民が負担した有料化は、大半が経費増で使われてしまう

有料化前(25年度予算)と後(28年度予算)を比較して分かったこと

1、ごみ有料化による市の収入増	(市民の負担増、予想より多い)	2億2700万円
2、ところがその殆どが業者への支払いなどの経費に使われてしまう		(経費増加額)
① 有料ごみ袋調達管理委託経費の増額	(商工会などへ支払う)	6200万円
② 有料ゴミ袋の販売手数料増額	(販売店へ支払う)	2320万円
③ 戸別収集等収集経費の増額	(ごみ収集会社へ支払う)	8200万円
④ ペットボトル中間処理委託経費等増額	(処理業者へ支払う)	1100万円
⑤ ごみ資源分別ガイド印刷・宅配等経費 増額		620万円
⑥ 不法投棄防止巡回委託経費増額	(巡回業者へ支払う)	840万円
	(経費増合計)	約1億9300万円

このほか、焼却処理の組合負担金の増が、3900万円ある。

なお、経費の増加には、消費税値上げの影響もあると思われる。

ごみは、減ったか? 街はきれいになったか??

有料化後にごみは減ったか 「ごみ量推移グラフ」をご覧ください。